

FEI グランプリ馬場馬術課目

時間 6'30" (参考時間)

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
------	----	------	-------

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

馬匹の最低年齢：8才

順 序	運 動 課 目	最 高 点	採 点	修 正	係 数	合 計	着 眼 点	観 察 所 見
1.	A 収縮駢歩で入場 X 停止 - 不動 - 敬礼 収縮速歩で発進 XC 収縮速歩	10					ペースおよび停止と移行の質 真直性 コンタクトと頂の位置	
2.	C 左手前蹄跡へ入る HXF 伸長速歩 FAK 収縮速歩	10					整正、伸縮性、バランス、 後躯の活力、オーバートラック フレームの伸展、両移行	
3.	KB 右へハーフパス	10			2		速歩の整正と質、安定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、真直性 肢の交叉	
4.	BH 左へハーフパス HC 収縮速歩	10			2		速歩の整正と質、安定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、 肢の交叉	
5.	C 停止 - 不動 5歩後退、ただちに収縮速歩で発進	10					停止と移行の質 透過性、流暢さ、 正確な後退（斜対）の歩数	
6.	MV 伸長速歩	10					整正、伸縮性、バランス、 後躯の活力、オーバートラック フレームの伸展、伸長速歩への移行	
7.	VKD パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ、背と運歩の弾力性 パッサージュへの移行	
8.	D ピアッフェ12-15歩	10			2		整正、体重を支える、セルフキャリッジ 活発さ、背と運歩の弾力性 明確な斜対での歩数	
9.	D パッサージュ-ピアッフェ -パッサージュの移行	10					リズムの維持、収縮、セルフキャリッジ バランス、流暢さ、 真直性、明確な実施	
10.	DFP パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ、 背と運歩の弾力性	
11.	PH 伸長常歩	10			2		整正、背の柔軟、活発さ オーバートラック、肩の自由さ ハミへの伸展、常歩への移行	
12.	HCM 収縮常歩	10			2		整正、背の柔軟、活発さ 歩巾の短縮と運歩の高揚 セルフキャリッジ	
13.	M パッサージュで発進 収縮常歩-パッサージュの移行	10					流暢さ、扶助への反応の良さ セルフキャリッジ、バランス、真直性	

FEI グランプリ馬場馬術課目

出番順

競技者名

所属

馬名

順 序	運 動 課 目	最 高 点	採 点	修 正	係 数	合 計	着 眼 点	観 察 所 見
14.	MRI パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ、背と運歩の弾力性	
15.	I ピアッフェ12-15歩	10			2		整正、体重を支える、セルフキャリッジ 活発さ、背と運歩の弾力性 明確な斜対での歩数	
16.	I パッサージュ-ピアッフェ -パッサージュの移行	10					リズムの維持、収縮、セルフキャリッジ バランス、流暢さ、 真直性、明確な実施	
17.	ISE パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ 背と運歩の弾力性	
18.	E 左収縮駢歩で発進 EKAF 収縮駢歩	10					明確な実施と流暢な移行 駢歩の質	
19.	FXH 斜線上2歩毎の踏歩変換9回 HCM 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、真直性 前後の駢歩の質	
20.	MXK 伸長駢歩	10					駢歩の質、インパルジョン、 歩巾とフレームの伸展 バランス、アップヒル傾向 真直性	
21.	K 収縮駢歩、踏歩変換 KA 収縮駢歩	10					斜線上の踏歩変換の質 明確さ、スムーズな移行の実施	
22.	A 中央線上に入る DG間 中央線の両側に5回のハーフパス (各頂点で踏歩変換) 最初と最後のハーフパスは左駢歩で3歩、 他のハーフパス3回は6歩 G 踏歩変換 C 右手前蹄跡に入る	10			2		駢歩の質 安定した屈曲、収縮 バランス、手前変換の流暢さ 左右対称な実施 踏歩変換の質	
23.	MXK 斜線上歩毎の踏歩変換15回 KA 収縮駢歩	10			2		正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向、真直性 前後の駢歩の質	
24.	A 中央線上に入る L 左ヘピルーエット	10			2		収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性、屈曲 正しい歩数(6-8歩) 前後の駢歩の質	
25.	X 踏歩変換	10					正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向、真直性 前後の駢歩の質	
26.	I 右ヘピルーエット C 右手前蹄跡に入る CM 収縮駢歩	10			2		収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性、屈曲 正しい歩数(6-8歩) 前後の駢歩の質	
27.	M 収縮速歩 MR 収縮速歩	10					流暢さ;明確さ、 スムーズな移行の実施	
28.	RK 伸長速歩 K 収縮速歩 KA 収縮速歩	10					整正、伸縮性、バランス 後駆の活力、オーバートラック フレームの伸展、両移行、コレクション	

FEI グランプリ馬場馬術課目

出番順

競技者名

所属

馬名

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
29.	A 中央線上に入る DX パッセージ	10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ、背と運歩の弾力性 パッセージへの移行	
30.	X ピアッフェ12-15歩	10			2		整正、体重を支える、セルフキャリッジ 活発さ、背と運歩の弾力性 明確な斜対での歩数	
31.	X パッセージ-ピアッフェ -パッセージの移行	10					リズムの維持、収縮、セルフキャリッジ バランス、流暢さ、 真直性、明確な実施	
32.	XG パッセージ	10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ 背と運歩の弾力性	
33.	G 停止-不動-敬礼	10					停止と移行の質、真直性 コンタクトと頂の位置	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計		440						

総合観察

1. 全体的な印象（人馬コンビネーションによる調和のとれた表現：騎手の姿勢と騎座、控えめかつ効力のある扶助）

合計

減点すべきもの/ペナルティポイント

経路違反

1回目 = 2%減

2回目 = 失権

その他のペナルティ - 技術的過失

1回ごとに0.5%減

合計

10			2		総合観察所見
460					
得点率% :					
合計得点率% :					

審判員署名

FEI 2009年1月1日施行、JEF 2009年4月1日施行
JEF 2012年2月1日更新
FEI, JEF 2014年1月1日施行
FEI, JEF 2015年1月1日施行
FEI 2016年1月1日更新、JEF 2016年4月1日施行
FEI 2017年1月1日更新、JEF 2017年4月1日施行
FEI 2018年1月1日更新、JEF 2018年4月1日施行
FEI 2020年1月1日更新、JEF 2020年4月1日施行
FEI 2021年1月1日更新、JEF 2021年4月1日施行
FEI 2022年1月1日更新、JEF 2022年4月1日施行
JEF 2023年6月5日更新